

分子系の複合電子機能 第 181 委員会 最終研究会

2023 年 3 月 7 日 (火) ~ 8 日 (水)

京都大学 理学研究科 セミナーハウス

3 月 7 日 13:30-17:30

13:30-13:40 はじめに

13:40-14:30 招待講演 1 森 健彦(東京工業大学 物質理工学院)

『交互積層・分離積層電荷移動錯体のトランジスタと有機半導体の結晶構造予測』

14:30-14:45 若手講演 1 白旗 崇(愛媛大学大学院 理工学研究科)

『DM-BETS 系導体の開発』

14:45-15:00 若手講演 2 坏 広樹(大阪大学 理学研究科)

『分極対イオン層による有機伝導体へのキャリアドープ』

15:00-15:15 若手講演 3 上田 顕(熊本大学大学院 先端科学研究部)

『純有機中性分子/超分子で拓く部分酸化型分子性導体の新展開』

15:15-15:30 若手講演 4 前里 光彦(京都大学大学院 理学研究科)

『有機伝導体における次元性・フラストレーションとランダムネス』

15:30-16:00 休憩

16:00-16:30 招待講演 2 瀧宮 和男(東北大学大学院 理学研究科)

『有機半導体固体の「設計と合成」:効率的キャリア輸送のための結晶構造設計への挑戦』

16:30-16:45 若手講演 5 綱島 亮(山口大学大学院 創成科学研究科)

『分子結晶に魅せられた四半世紀』

16:45-17:00 若手講演 6 井口 弘章(名古屋大学大学院 工学研究科)

『配位結合を用いた多孔性分子導体の開発』

17:00-17:15 若手講演 7 角屋 智史(甲南大学 理工学部)

『非 TTF ドナーを用いた二次元電子構造をもつモット絶縁体の開発』

17:15-17:30 若手講演 8 出倉 駿(東京大学 物性研究所)

『分子性結晶中の分子運動とプロトン互変異性による無加湿超プロトン伝導』

分子系の複合電子機能 第181委員会 最終研究会  
2023年3月7日(火)～8日(水)  
京都大学 理学研究科 セミナーハウス

3月8日 9:00-15:15

9:00-9:50 招待講演 3 鹿野田 一司(東京大学大学院 工学系研究科)  
『電荷不安定性とその機能化』

9:50-10:20 招待講演 4 山本 浩史(分子科学研究所 協奏分子システム研究センター)  
\*オンライン\* 『分子性導体を用いたエレクトロニクス・スピントロニクス』

10:20-10:35 若手講演 9 松田 真生(熊本大学大学院 先端科学研究部)  
『フタロシアニン伝導体のこれまでとこれから』

10:35-10:50 若手講演 10 藤野 智子(東京大学 物性研究所)  
『大気下でも安定な d/π 共役系アンバイポーラー型半導体薄膜材料の開発』

10:50-11:05 若手講演 11 横森 創(立教大学 理学部)  
『傾角反強磁性を示す単一成分分子性導体のアルコキシ鎖長変調効果と今後の展開』

11:05-11:20 若手講演 12 長谷川 裕之(島根大学 学術研究院)  
『ナノ電解法 ～有機導電体ナノ単結晶の応用を目指して～』

11:20-11:50 招待講演 5 内藤 俊雄(愛媛大学 理工学研究科)  
『分子性導体研究の現代史』

11:50-13:00 昼休み

13:00-13:30 招待講演 6 長谷川 達生(東京大学大学院 工学系研究科)  
『電荷移動錯体と有機半導体 --- 分子間力、および分子配列構造の起源に関して』

13:30-13:45 若手講演 13 水津 理恵(名古屋大学大学院 理学研究所)  
『強相関ラジカル分子構造体を示す特異な電子物性』

13:45-14:00 若手講演 14 高橋 仁徳(北海道大学 電子科学研究所)  
『超分子カチオンを導入した[Ni(dmit)<sub>2</sub>]塩における分子再配列と連動した負の熱膨張と特異な磁気特性』

分子系の複合電子機能 第181委員会 最終研究会

2023年3月7日(火)～8日(水)

京都大学 理学研究科 セミナーハウス

14:00-14:15 若手講演 15 吉田 幸大(京都大学 理学研究科)

『分子性導体の開発:k型ET塩とプロトン-電子混合伝導性金属錯体』

14:15-14:30 若手講演 16 清水 康弘(名古屋大学 理学研究科)

『柔らかいダイヤモンド、固いスピン液体』

14:30-15:15 自由討論&小川先生、斉藤先生+運営委員の先生方

## 会場案内

京都大学 理学研究科 セミナーハウス 大セミナー室

京都府京都市左京区北白川追分町37-1 吉田キャンパス 北部構内

